技術情報:Si-R Gシリーズ設定例

['Windows11」とのVPN (IPsec)-IPv4]

Windows11とSi-R GをIPv4でVPN接続する設定例です。

[対象機種と版数]

Si-R Gシリーズ V20.54以降

[設定内容]

Si-R GOether 1 1をWAN側、ether 2 1-4をLAN側とします。 ・LAN側に192.168.1.0/24を割り当てます。

・IKEパラメータ条件

- キー交換モード メインモード
- 暗号化アルゴリズム AES-128
- 整合性アルゴリズム SHA1
- DHグループ 1,024bit
- 事前共有鍵文字列 "test"
- キーの有効期限 480分
- ・IPsecパラメータ条件
- プロトコル ESP
- 暗号化アルゴリズム AES-128
- 整合性アルゴリズム SHA1
- キーの有効期限 60分/100,000Kbyte



[設定例] ・testにはIPsec鍵を設定してください。

Si-R G 設定例

ether 1 1 vlan untag 1 ether 2 1-4 vlan untag 2 lan 0 ip address 10.10.1.1/24 3 lan 0 ip route 0 10.1.1.0/24 10.10.1.2 1 1 lan 0 vlan 1 lan 1 ip address 192.168.1.1/24 3 lan 1 vlan 2 remote 0 name win11 remote 0 ap 0 name ipsec remote 0 ap 0 datalink type ipsec remote 0 ap 0 ipsec type ike remote 0 ap 0 ipsec ike protocol esp remote 0 ap 0 ipsec ike range 192.168.1.0/24 10.1.1.100/32 remote 0 ap 0 ipsec ike encrypt aes-cbc-128 remote 0 ap 0 ipsec ike auth hmac-sha1 remote 0 ap 0 ike mode main remote 0 ap 0 ike shared key text test remote 0 ap 0 ike proposal 0 encrypt aes-cbc-128 remote 0 ap 0 ike proposal 0 hash hmac-sha1 remote 0 ap 0 ike proposal 0 pfs modp1024 remote 0 ap 0 tunnel local 10.10.1.1 remote 0 ap 0 tunnel remote 10.1.1.100 remote 1 name olap remote 1 ap 0 name olap remote 1 ap 0 datalink type overlap remote 1 ap 0 multiroute pattern 0 use any 500 any 500 17 any remote 1 ap 0 multiroute pattern 1 use any any any any 50 any remote 1 ap 0 overlap to lan 0 remote 1 ap 0 overlap nexthop 10.10.1.2 remote 1 ap 1 name olap1 remote 1 ap 1 datalink type overlap remote 1 ap 1 multiroute pattern 0 use any any any any any any remote 1 ap 1 overlap to remote 0 remote 1 ip route 0 10.1.1.100/32 1 1 syslog facility 23 time zone 0900 resource system vlan 4089-4094 consoleinfo autologout 8h telnetinfo autologout 5m terminal charset SJIS

[解説]

Si-R_G設定解説 ether 1 1 vlan untag 1 ether1 1ポートをTag なしVLAN1に設定します。 ether 2 1-4 vlan untag 2 ether2 1-4ポートをTag なしVLAN2に設定します。 lan 0 ip address 10.10.1.1/24 3 LANO側IPアドレスを設定します。 10.10.1.1/24 : IPアドレス/マスクです。 3:ブロードキャストアドレスのタイプです。通常は3で構いません。 lan 0 ip route 0 10.1.1.0/24 10.10.1.2 1 1 スタティックルートを設定します。 10.1.1.0/24: 宛先ネットワーク/マスクです。 10.10.1.2: ネクストホップです。 1: metric値です。通常はこのままで構いません。 1: distance値です。通常はこのままで構いません。 lan 0 vlan 1 VLAN ID とlan 定義番号の関連付けを行います。 LAN0にTag なしVLAN1を設定します。 lan 1 ip address 192.168.1.1/24 3 LAN1側IPアドレスを設定します。 192.168.1.1/24: IPアドレス/マスクです。 3 : ブロードキャストアドレスのタイプです。 通常は3で構いません。 lan 1 vlan 2 VLAN IDとlan 定義番号の関連付けを行います。 LAN1にTag なしVLAN2を設定します。 remote 0 name win11 インタフェースの名前(任意)を設定します。 remote 0 ap 0 name ipsec アクセスポイントの名前(任意)を設定します。 remote 0 ap 0 datalink type ipsec パケット転送方法としてIPsecを設定します。 remote 0 ap 0 ipsec type ike IPsec情報のタイプにIPsec自動鍵交換を設定します。 remote 0 ap 0 ipsec ike protocol esp

remote U ap U Ipsec like protocol esp 自動鍵交換用IPsec情報のセキュリティプロトコルにESP(暗号)を設定します。 remote 0 ap 0 ipsec ike range 192.168.1.0/24 10.1.1.100/32 自動鍵交換用IPsec 情報の対象範囲を設定します。

192.168.1.0/24: IPsec 対象となる送信元IP アドレス/マスクです。 10.1.1.100/32: IPsec 対象となる宛先IP アドレス/マスクです。

remote 0 ap 0 ipsec ike encrypt aes-cbc-128 自動鍵交換用IPsec情報の暗号情報にAES128ビットを設定します。

remote 0 ap 0 ipsec ike auth hmac-sha1 自動鍵交換用IPsec情報の認証情報にSHA1を設定します。

remote 0 ap 0 ike mode main 情報の交換モードを設定します。 main : IKE 情報の交換モードとしてMain Mode を使用します。

remote 0 ap 0 ike shared key text test IKEセッション確立時の共有鍵 (Pre-shared key)を設定します。

remote 0 ap 0 ike proposal 0 encrypt aes-cbc-128 IKEセッション用暗号情報の暗号アルゴリズムにAES128ビットを設定します。

remote 0 ap 0 ike proposal 0 hash hmac-sha1 IKE セッション用認証(ハッシュ)情報にSHA1を設定します。

remote 0 ap 0 ike proposal 0 pfs modp1024 IKE セッション用DH(Diffie-Hellman)グループにmodp1024を設定します。

remote 0 ap 0 tunnel local 10.10.1.1 IPsecトンネルの送信元アドレスの設定をします。

remote 0 ap 0 tunnel remote 10.1.1.100 IPsecトンネルの送信先アドレスの設定をします。

remote 1 name olap インターフェースの名前 (任意)を設定します。

remote 1 ap 0 name olap アクセスポイント0の名前(任意)を設定します。

remote 1 ap 0 datalink type overlap パケット転送方法にoverlapを設定します。

remote 1 ap 0 multiroute pattern 0 use any 500 any 500 17 any remote 1 ap 0 multiroute pattern 1 use any any any any 50 any remote 1 ap 0 overlap to lan 0 remote 1 ap 0 overlap nexthop 10.10.1.2 IKE,ESPパケットをlan 0から10.1.1.2に転送します。

remote 1 ap 1 name olap1 アクセスポイント1の名前(任意)を設定します。

remote 1 ap 1 datalink type overlap パケット転送方法にoverlapを設定します。 remote 1 ap 1 multiroute pattern 0 use any any any any any any remote 1 ap 1 overlap to remote 0 IKE,ESP以外の全てのパケットをremote 0から送出します。

remote 1 ip route 0 10.1.1.100/32 1 1 スタティックルートを設定します。 10.1.1.100/32 : 宛先ネットワーク/マスクです。

1:metric値です。通常は1で構いません。

1: distance値です。通常は1で構いません。

syslog facility 23 システムログ情報の出力情報 / 出力対象ファシリティの設定をします。 通常はこのままで構いません。

time zone 0900 タイムゾーンを設定します。通常はこのままで構いません。

consoleinfo autologout 8h telnetinfo autologout 5m シリアルコンソール、TELNETコネクションの入出力がない場合のコネクション切断時間を設定します。通常はこの ままで構いません。

terminal charset SJIS ターミナルで使用する漢字コードをShift JISコードに設定します。 Windowsのメニュー 「Windowsツール」 「セキュリティが強化されたWindowsファイアーウォール」の順に クリックします。



「セキュリティが強化されたWindowsファイアーウォール」をダブルクリックします。

「Windowsファイアーウォールのプロパティ」をクリックします。



「IPsecの設定」カスタマイズをクリックします。

ローカル コンピューター プロパティのセキュリティが弱	館化された Windows Defe X
ドメイン プロファイル パブリック プロファイル	プライベート プロファイル IPsec の設定
IPsec 既定 レキュリティ保護接続の確立に I の で使用する設定を指定してくださ	PSec カスタマイズ(C)
IPsec の除外 IPsec の全要件から ICMP を勝 いシューティングが容易になります IPsec から ICMP を除く(E):	くと、ネットワーク接続のトラブ 。 いいえ (既定) ~
IPsec トンネルの承認 このコンピューターに IPsec トンネ ザーとコンピューターを指定します のなし(N) 〇 詳細設定(D)	い接続を確立できるユー 。 カスタマイズ(U)_
OK	キャンセル 適用(A)

各項目を設定します。

- 1.「キー交換(メインモード)」詳細設定 カスタマイズをクリックします。 2.「データ保護(クイックモード)」詳細設定 カスタマイズをクリックします。 3.「認証方法」詳細設定 カスタマイズをクリックします。

はたしのオンションを10円すると、優元加回辺が高い GP れます。 キー交換 (メインモード) ○ 既定 (推奨)(D) ○ 詳細設定(A) データ保護 (ワイックモード) ○ 既定 (推奨)(L) ○ 詳細設定(V)	カスタマイズ(C)
キー交換 (メインモード) ○ 既定 (推奨)(D) ● 詳細設定(A) データ保護 (ウイックモード) ○ 既定 (推奨)(L) ● 詳細設定(V)	カスタマイズ(O)
 既定(推奨)(D) 	カスタマイズ(C)
 詳細設定(A) データ保護 (ワイックモード) 既定 (推奨)(L) 詳細設定(V) 	カスタマイズ(C)
データ保護 (ワイックモード) ○ 既定 (推奨)(L) ● 詳細設定(V)	
○ 既定 (推奨)(L) ● 詳細設定(V)	
○ 詳細設定(V)	
	カスタマイズ(S)
認証方法	
○ 既定(F)	
○ コンピューターとユーザー (Kerberos V5)(K)	
○ コンピューター (Kerberos V5)(R)	
〇 ユーザー (Kerberos V5)(U)	
○ 詳細設定(N)	カスタマイズ(T)

1. キー交換(詳細)

Si-Rとセキュリティメソッドとキー交換アルゴリズムを合わせます。 追加もしくは編集を行います。 キーの有効時間はデフォルトの設定で問題ありません。 (remote ap ike)

整合性	暗号化	キー交換アルゴリズム	
SHA-1	AES-CBC 1_	Diffie-Hellman Group	2(既定)
SHA-1	3DES	Diffie-Hellman Group 2	
-の有効期		HIPRATO	キー交換のオブション(T)
-の有効期 -を新規に	間 主成する時期を指定 場合け ジェムかー・	します。オブションを ちの有効期間が失い	キー交換のオプション(T) 2 Diffie-Hellman を使用してセキュリ ティを含体するく(1)
-の有効期 -を新規にご 方指定した 了した時点	間 主成する時期を指定 場合は、どちらかーフ でキーが新規に生成	します。オブションを 方の有効期間が先に されます。	キー交換のオプション(T) Diffie-Hellman を使用してセキュリ ティを強化する(U)
-の有効期 -を新規に 方指定した 了した時点	間 主成する時期を指定 場合は、どちらかー? でキーが新規に生成	します。オプションを ちの有効期間が先に されます。	キー交換のオブション(T) Diffie-Hellman を使用してセキュリ ディを強化する(U) Windows Vista 以降と互換性が あります。
-の有効期 ーを新規にご 方指定した 了した時点	間 主成する時期を指定 場合は、どちらかーフ でキーが新規に生成	HUDARYTY にします。オブションを 方の有効期間が先に されます。 480 ÷	キー交換のオブション(T) ■ Diffie-Hellman を使用してセキュリ ティを強化する(U) Windows Vista 以降と互換性が あります。

2. データ保護(詳細)

データの整合性と暗号化でSi-Rとアルゴリズムを合わせます。 追加もしくは編集を行います。 (remote ap ispec ike)

ータの整合 以下の整合 いから保護 す。 デーカ整合	性 ・性アルゴリズム 」ます。一覧の キアルゴリズム	ムにより、ネットワーク上でデータを改)上位にあるものから先に試行されま (1)	¥0.	データの整合 以下の整合 タを改ざんか ら先に試行さ	性と暗号化 性および暗 ら保護し、 も います。 まわよ7 暗音	号化アルゴリズム 製密性を守ります	により、ネットワーク上で 。一覧の上位にあるも N):
プロトコル	整合性	キーの有効期間(分/KB)	*	プロトコル ESP ESP	整合性 SHA-1 SHA-1	暗号化 AES-CBC 3DES	キーの有効期間 60/100,000 60/100,000
追加(A).	. 編集	(E)		追加(D).	. 編集	長(1)	₿余(M)

3. 認証

1番目の認証で事前共有キーを設定します。

番目の認証方法(F)	k.	 2 番目の認証方	法(S):	
方法 コンピューター (Kerbe	追加情報 r	方法	追加情報	
事前共有キー	test			
追加(A) 編	i集(E)	」 追加(D)	編集(I)削除(M)	
1番目の認証をオ	プション(こする(T)	□ 2 番目の認識	正をオプション(こする(N)	

○ コンピュ~ ○ コンピュ~ ○ 以下の調	ーター (Kerberos V5) ーター (NTLMv2)(N) 証明機関 <mark>(CA)</mark> 発行の	(K) Dコンピューター証明書	(C):
署名	Ξアルゴリズム(S) :	RSA(既定)	M.
訂正日	月書ストアの種類(E):	ルートCA(既定)	
			参照(B)
 正常 アカ 	。 性証明書のみを受け ウントのマッピングで証	ナ入れる(H) 明書を有効にする(A)	詳細設定(V)
 事前共; 	有キー (推奨されませ	ሌ)(P):	
test			
事前共2 低いです 有キー記	有キー認証のセキュリ 1。事前共有キーはプ 認証を使用すると、2 #	ティのレベルは他の認識 レーンテキストで格納さ 番目の認証は使用でき	正方法に比べて れます。事前共 きせん。

「接続セキュリティの規則」を設定します。

最初は何も設定が無いので追加して下さい。

鹶 セキュリティが強化され	た Windows Defender ファイア	ウォール
ファイル(F) 操作(A) 表	長示(V) ヘルプ(H)	
🗢 🏟 🖄 📆 🗟	?	
	セキュリティが 接続セキュリティ(名前	の規則
 接続セキュリテ 	新しい規則(N)	
	プロファイルでフィルター(R)	>
	状態でフィルター(S)	>
	表示(V)	>
	最新の情報に更新(F)	
	一覧のエクスポート(L)	
	ヘルプ(H)	

「規則の種類」

規則の種類で「サーバ間」を選択します。



「エンドポイント」

エンドポイント1はwindows11側のIPsec暗号化対象パケットの範囲です。 エンドポイント2はSi-R側のIPsec暗号化対象パケットの範囲です。 (remote ap ipsec ike range)

💣 新規の接続セキュリティの	の規則ウィザード	×
エンドポイント		
IPsec を使用してセキュリティ	で保護された接続を確立するコンピューターを指定してください。	
ステップ: 規則の種類 エンドポイント 要件 認証方法	エンドボイント 1 とエンドボイント 2 のコンピューター間に、セキュリティ す。 エンドボイント 1 にあるコンピューターを指定してください 〇 任意の IP アドレス(P) 〇 これらの IP アドレス(T):	保護された接続を作成しま
ว้อวราน	10.1.1.100	追加(A)
名前		編集(E)
		育『ƙ余(R)
	この規則を適用するインターフェイスの種類のカスタマイズ:	カスタマイズ(U)
	エンドポイント 2 にあるコンピューターを指定してください 〇 任意の IP アドレス(Y) 〇 これらの IP アドレス(H):	
	192.168.1.0/24	注自加(D) 編集(D_ 首顺余(M)
	< 戻る(B)	次へ(N)> キャンセル

「要件」

要件で「受信接続と送信接続の認証を要求する」を選択します。

💣 新規の接続セキュリティの)規則ウィザード	×
要件		
この規則に一致する接続の認	証の要件を指定してください。	
 ステップ: 規則の種類 エンドポイント 要件 認証方法 プロファイル 名前 	どのような条件で認証を実行しますか?	
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセ	2JL

「認証方式」

詳細設定でカスタマイズを選択します。

💣 新規の接続セキュリティの規	見則ウィザード	×
認証方法		
規則に一致する接続に対して行	なう認証方法を指定してください。	
 ステップ: 規則の種類 エンドポイント 要件 認証方法 プロファイル 名前 	どの認証方法を使用しますか? コンピューター証明書(T) この証明機関 (CA)から発行された証明書を持つコンピューターからの接続に通信を制限しま 署名アルゴリズム(S): RSA (既定) 正明書ストアの種類(E): ルート CA (既定) ー	ತ್ಯ
	CA の名前(M): 参照(R). 参照(R). ご不管性証明書のみを受け入れる(H) これらの証明書は、ネットワーク アクセス保護の正常性証明書サーバーから発行され ています。 ● 詳細設定(A) カスタムの 1 番目と 2 番目の認語証設定を指定します。 カスタマイズ(U).	

Psec ネゴシエー)上位にあるもの 番目の認証方	ション中に使用する認証方法を指 から先に試行されます。 法(F):	定します。一覧	IPSec ネゴシエー 性証明書を指定 す。 2 番目の認証方:	ション中に使用するユーザー認証 します。一覧の上位にあるものか 法(S):	方法または正行 ら先に試行され
方法	追加情報	*	方法	追加情報	
追加(A) 〕1番目の認証	編集(E) 削除(R) 証をオプションにする(T)		道加(D)… 2番目の認語 1番目の認語方の認証方法を指	編集(D	場合は、2 番E

1 番目の認証方法の追加		×	2
1番目の認証に使用する資格情	報を選択してください:		
 コンピューター (Kerberos V5) コンピューター (NTLMv2)(N) 以下の証明機関 (CA) 発行の 	(K) Dコンピューター証明書	:(C):	
署名アルゴリズム(S):	RSA(既定)	-	
証明書ストアの種類(E):	ルートCA(既定)	×.	
		参照(B)_	
 正常性証明書のみを受け アカウントのマッピングで証 	ナ入れる(H) 明書を有効にする(A)	詳細設定(V)	
○ 事前共有キー (推奨されませ	ሌ)(P):		
test			
事前共有キー認証のセキュリ 低いです。事前共有キーはプ 有キー認証を使用すると、24	ティのレベルは他の認識 レーンテキストで格納な 毎日の認証は使用でき	証方法に比べて がれます。 事前共 きません。	
	ОК	キャンセル	

「プロファイル」

ドメイン、プライベート、パブリックにチェックがついている事を確認します。

■ 新祝の接続セキュリナイの:	祝児リソイリート	,
プロファイル この規則が適用されるプロファイ	「ルを指定してください。	
 ステッフ: 規則の種類 エンドポイント 要件 認証方法 プロファイル 名前 	この規則はいつ適用しますか? ・ ドメイン(D) ・ コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。 ・ フライベート(P) ・ コンピューターが自宅や職場などのプライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。 ・ パブリック(D) ・ コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。	
	< 戻る(B) 次へ(N)> キャン	セル

「名前」

ipsecという名前でセキュリティ規則を追加します。

🔗 新規の接続セキュリティの)規則ウィザード	ŝ
名前		
の規則の名前と説明を指定	してください。	
トテップ:		
規則の種類		
エンドポイント		
要件	名前(N):	
認証方法	ipsec	
プロファイル		
名前	説明 (省略可)(D):	
		-
	〈 戻 ố(B) 元 ſ (F)	キャンセル



詳細設定タブのIPsecトンネリングのカスタマイズをクリックします。



IPsecトンネリングを使用するをチェックします。

ローカルはwindows11側、IPsecトンネルの起点アドレスです。

リモートはSi-R側、IPsecトンネルの起点アドレスです。

IPsec トンネリ	ング設定のカスタマイズ		×
エンドポイント ます。一般的	1 から 2 への間の接続は かにトンネル エンドポイントは	皆定のトンネル エン ゲートウェイ サーバ	バボイントを経由し ーです。
注意: IPSec 必須] または する必要があ	トンネリングを使用する場合 「受信で必須、送信では不 りります。	は、認証モードを 要](ゲートウェイ:	[受信および送信で デバイス用)(に設定
🔽 IPsec 卜	ンネリングを使用する(U)		
□ 承認	を適用する(A)		
🗌 IPse	c で保護されている接続を	徐外する(X)	
ローカル	トンネル エンドポイント ロン	ドポイント 1 (こ最も	っ近い):
IP∨4(I):	10.1.1.100		編集(E)
IP∨6(P):			
リモート	トンネル エンドポイント エント	ドボイント2に最も	近い):
IP∨4(V):	10.10.1.1		編集(D)
IP∨6(6):			
		ОК	キャンセル